

このたびは、RAIDON 社製マルチインターフェース対応 RAID 装置 *SafeTank* シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

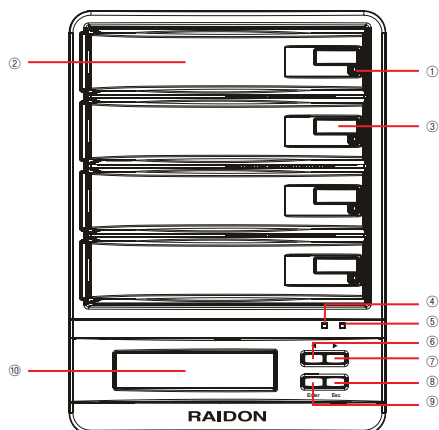
本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

構成品 パッケージ内容

製品本体パッケージ内容物	<input type="checkbox"/> 製品本体 <input type="checkbox"/> FireWire800 ケーブル (9pin ⇄ 9pin) <input type="checkbox"/> eSATA ケーブル <input type="checkbox"/> USB3.0 ケーブル	<input type="checkbox"/> 電源ケーブル <input type="checkbox"/> 保証書 (本体) <input type="checkbox"/> 製品シリアルシール
ドライブパッケージ内容物	<input type="checkbox"/> HD ドライブ (ホルダー付) × 4 (スペアドライブモデルの場合 × 5) <input type="checkbox"/> セットアップマニュアル (本紙)	<input type="checkbox"/> 保証書 (HD ドライブ) <input type="checkbox"/> ユーザー登録カード <input type="checkbox"/> 製品シリアルシール

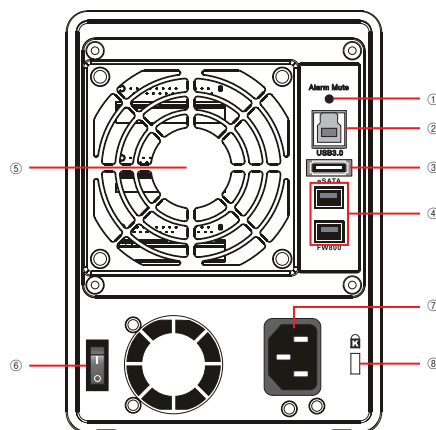
各部の名称とはたらき

前面



① ディスクステータスランプ	ハードディスクの動作状況を表示します。詳細は本紙 P6 をご参照ください。
② レバー	ドライブホルダーを取り出すときに手前に引きます。
③ レバーロック解除ボタン	ドライブホルダーのレバーロックを解除して、取り外し可能な状態にします。
④ 本体ステータスランプ	本製品に異常が発生すると点灯します。詳細は本紙 P6 をご参照ください。
⑤ 電源ランプ	本製品に電源が投入されると青色に点灯します。
⑥ ◀ボタン (左向き)	本製品の設定を行う場合は、◀ボタン / ▶ボタンで設定項目を選択します。
⑦ ▶ボタン (右向き)	定項目を選択します。
⑧ Esc ボタン	前のメニューに戻る時にこのボタンを押します。
⑨ Enter ボタン	選択した値を確認する時にこのボタンを押します。
⑩ 液晶パネル	本製品の状態を表示します。

背面



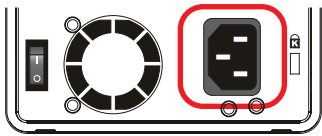
① 消音ボタン	アラーム音を一時的に止めるボタンです。
② USB3.0 ポート	USB3.0/2.0 用コネクターです。
③ eSATA ポート	eSATA 用コネクターです。
④ FW800 ポート	FW800/IEEE1394.b 用コネクターです。
⑤ 背面ファン	冷却用のファンです。
⑥ 電源スイッチ	本製品の電源を on/off します。[] 側に倒すと on に、[○] 側に倒すと off になります。
⑦ 電源コネクター	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
⑧ キーロック	盗難防止用のケーブルを取り付けることで本製品を盗難から防止できます。ケンジントンセキュリティスロットの規格に準じた盗難防止キーをご使用ください。

本製品の電源を入れる前に

本製品は、輸送時の衝撃による損傷等を考慮し、精密機械であるハードディスク・ドライブを別梱包にしています。ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で、上から数字順**にハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取り付けてください。

接続方法

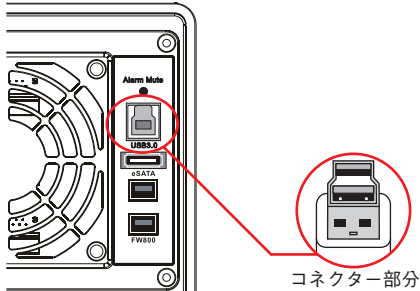
1. 本製品の電源コネクタに付属の電源ケーブルをしっかりと接続します。



2. 本製品を Mac / Windows コンピューターと接続します。

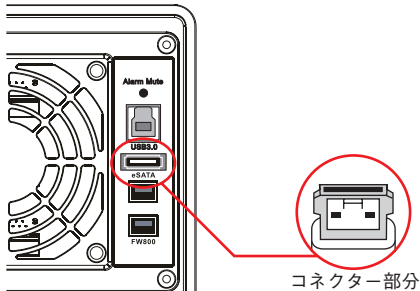
- USB で接続する場合

USB3.0ケーブルのコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品の USB ポートにしっかりと接続します。



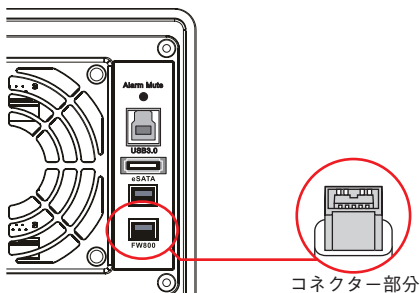
- eSATA で接続する場合

eSATA ケーブルのコネクタの形状と差し込む向きを確認し、本製品の eSATA ポートにしっかりと接続します。



- FireWire800 で接続する場合

FireWire 800ケーブル (9pin⇔9pin) のコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品の FireWire800ポートにしっかりと接続します。



4. 電源スイッチを ON にし、Mac / Windows コンピューターを起動します。

5. 本製品を初期化します。(Mac の場合)

本製品を Mac OS X でお使いの場合は、USB、eSATA、FireWire のいずれの接続でも「ディスクユーティリティ」を使って、初期化を行います。

ディスクの初期化方法

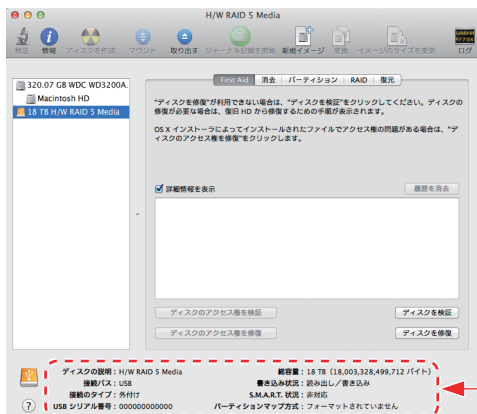
本製品を Mac に接続すると、「セットしたディスクは、このコンピュータで読み取れないディスクでした。」というダイアログが表示されますので [初期化] をクリックして「ディスクユーティリティ」を起動します。

※ダイアログが表示されない場合は、システム起動ディスク (通常は「Macintosh HD」) から「アプリケーション」の中の「ユーティリティ」にある「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。

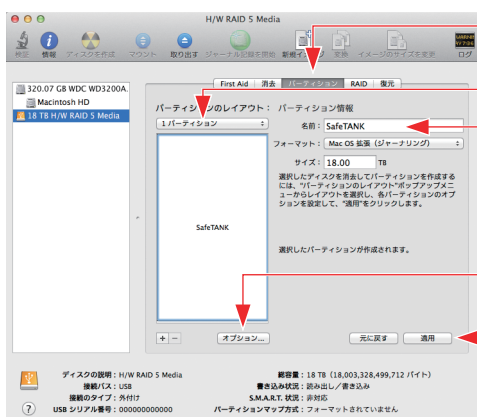
ディスクのリスト表示の中から、初期化するディスク (ドライブ) を選びます。

※すでにデータが書き込まれたディスク (ドライブ) に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻せませんので、ご注意ください。

図例:RAID5、USB接続の場合



確認する



1 クリック

2 選択する

3 入力する

4 クリック

5 クリック

USB接続の場合

・ウィンドウ下部にある【ディスクの説明】に「H/W xxx Media」、【接続バス】に「USB」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【総容量】で確認します。

※ xxx には RAID レベルが表示されます。

<注意>

MacProの一部のモデル(Late 2013以降) + MacOS 10.11以降の環境ではUSB3.0接続時にマウントされないことがあります。その際、両方の電源がONかつUSB3.0ケーブルで接続された状態でHOTスタートもしくはCOLDスタートを行うとマウントします。

<HOTスタート手順>

- ①本製品の電源をONにする。
- ②起動完了したMacProに本製品をUSB3.0ケーブルで接続する。
- ③MacProを再起動する。

<COLDスタート手順>

- ①MacProをシャットダウンする。
- ②MacProに本製品をUSB3.0ケーブルで接続する。
- ③本製品の電源をONにする。
- ④本製品から「ピッ」という音がした後にMacProの電源をONにする。

eSATA接続の場合

・ウィンドウ下部にある【ディスクの説明】に「H/W xxx Media」、【接続バス】に「SCSI」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【総容量】で確認します。

※ xxx には RAID レベルが表示されます。

FireWire接続の場合

・ウィンドウ下部にある【ディスクの説明】に「FireWire.」、【接続バス】に「FireWire」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【総容量】で確認します。

- ①【パーティション】をクリックします。
- ②【ボリューム方式】が「現在の設定」になっていますので、「1パーティション」に変更します。
- ③【フォーマット】を選び、必要に応じて【名前】を入力します。名前を入力した後にキーボードのreturnキーまたは、enterキーを押し、入力した名前がパーティションマップに反映されていることを確認します。
- ④【オプション】をクリックします。パーティション方式を選択する画面が表示されるので、「GUIDパーティションテーブル」を選択して[OK]をクリックしてください。
- ⑤初期化を実行してよければ、【適用】をクリックします。確認ダイアログが表示されますので、内容に問題がなければ【パーティション】をクリックします。

6. デスクトップにドライブアイコンが表示されます。

USB 接続時



eSATA 接続時



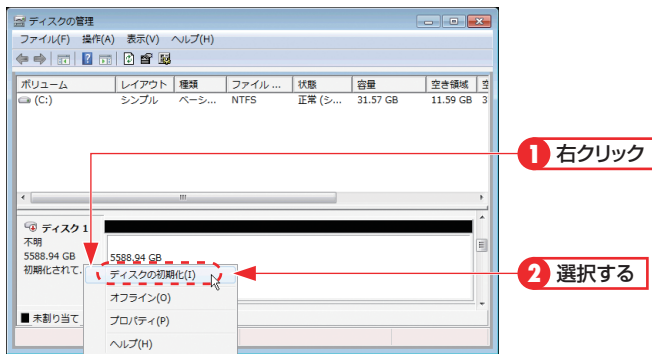
FireWire800 接続時



7. 「ディスクユーティリティ」を終了します。

8. 本製品を初期化します。(Windows の場合)

ディスクの初期化方法



[管理ツール]の[コンピュータの管理]を起動します。

[管理ツール]は以下の場所にあります。

Windows Vista : [スタート]ボタン → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス]

Windows 7 : [スタート]ボタン → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]

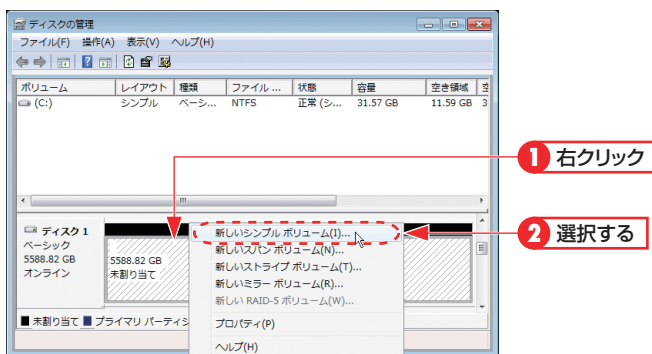
Windows 8 : [設定]チャーム → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]

「記憶域」の「ディスクの管理」を選択します。

本製品のディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、メニューの「ディスクの初期化」を選択します。

<ディスクの初期化>画面が表示されますので、初期化するディスクにチェックを入れ、GPT(GUIDパーティションテーブル)を選択して[OK]をクリックします。

ボリュームの作成方法



パーティションを作成するディスクのパーティションのエリアマップを右クリックし、メニューの『新しいシンプルボリューム』を選択します。

<新しいシンプルボリューム ウィザード>画面が表示されますので、画面の表示に沿って操作してください。通常は設定を変更する必要はありません。

※ Windows Vistaで16TB以上のボリュームをフォーマットする場合は、アロケーションユニットサイズを「8192」に指定してください。

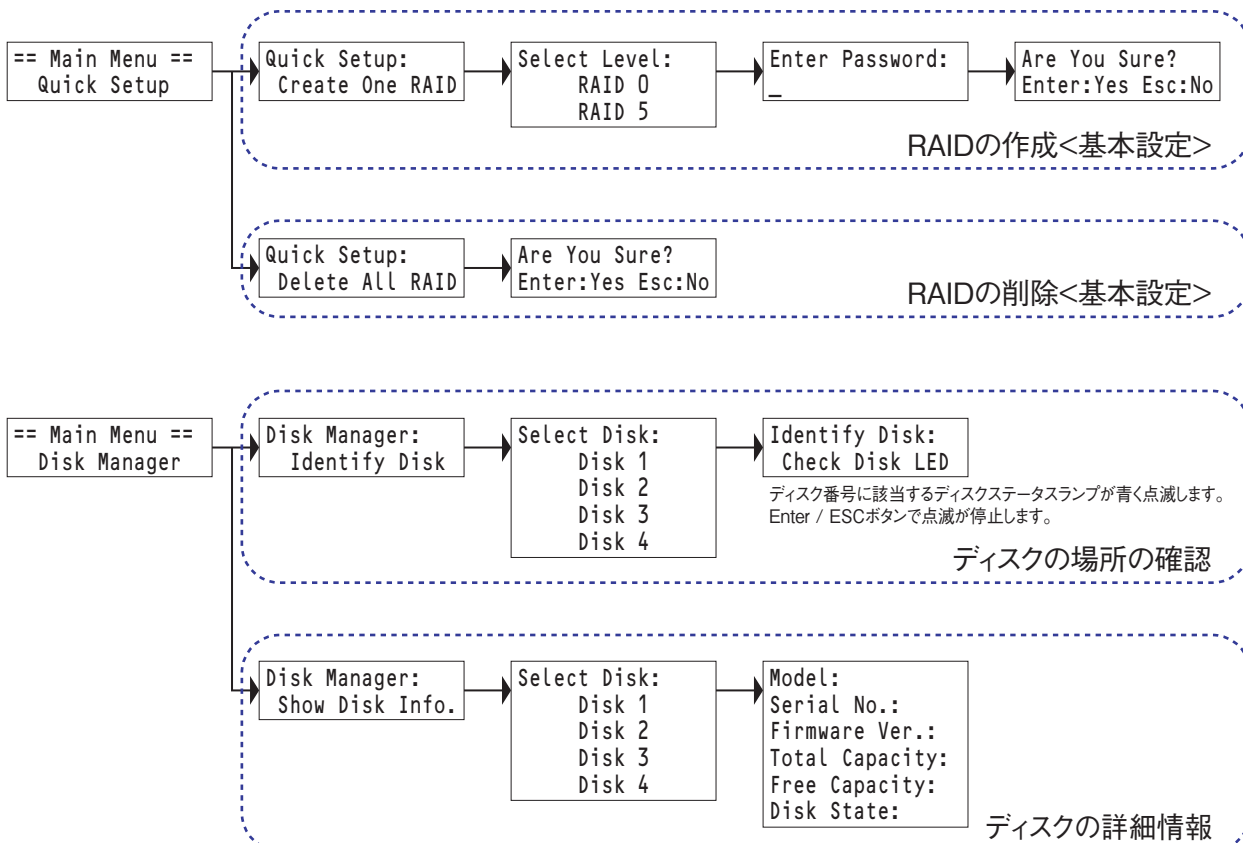
初期化についての詳細は各OSのヘルプやマニュアルをご参照ください。

※この画面は一例です。実際に画面に表示されるディスクの数やディスク情報はお使いの環境によって異なります。

液晶パネルの操作方法

ディスクや本体の状態によってステータスランプの表示パターンが変わります。

◀/▶ボタンによって値を選択し、Enterボタンで実行、Escボタンでキャンセルします。画面にボタンの指示がある場合はそれに従ってください。



== Main Menu ==
RAID Manager

RAID Manager:
Identify RAID

Select RAID:
RAID Set 0
RAID Set 1

Identify RAID:
Check Disk LED

RAID Setに該当するディスクステータスランプがすべて青く点滅します。
Enter / ESCボタンで点滅が停止します。

RAIDの確認

RAID Manager:
Create RAID

Select Level:
RAID 0
RAID 5

Select Disks:
Disk x

◀でDiskをメンバーに選択
▶でDisk番号変更

Total RAID Size:
xxxxGB

Enter RAID Name:
_

Enter Password:
_

Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No

RAIDの作成<拡張設定>

RAID Manager:
Delete RAID

Select RAID:
RAID Set 0
RAID Set 1

Delete The RAID:
Enter:Yes Esc:No

Waiting System
Re-initialize...

RAIDの削除<拡張設定>

RAID Manager:
RAID Infomation

Select RAID:
RAID Set 0
RAID Set 1

RAID Name:
RAID Level:
RAID Capacity:
Member Count:
RAID Stat

RAIDの情報

RAID Manager:
Change RAID Pwd.

Select RAID:
RAID Set 0
RAID Set 1

Enter Password:
_

Re-Enter PWD:
_

RAIDパスワードの変更

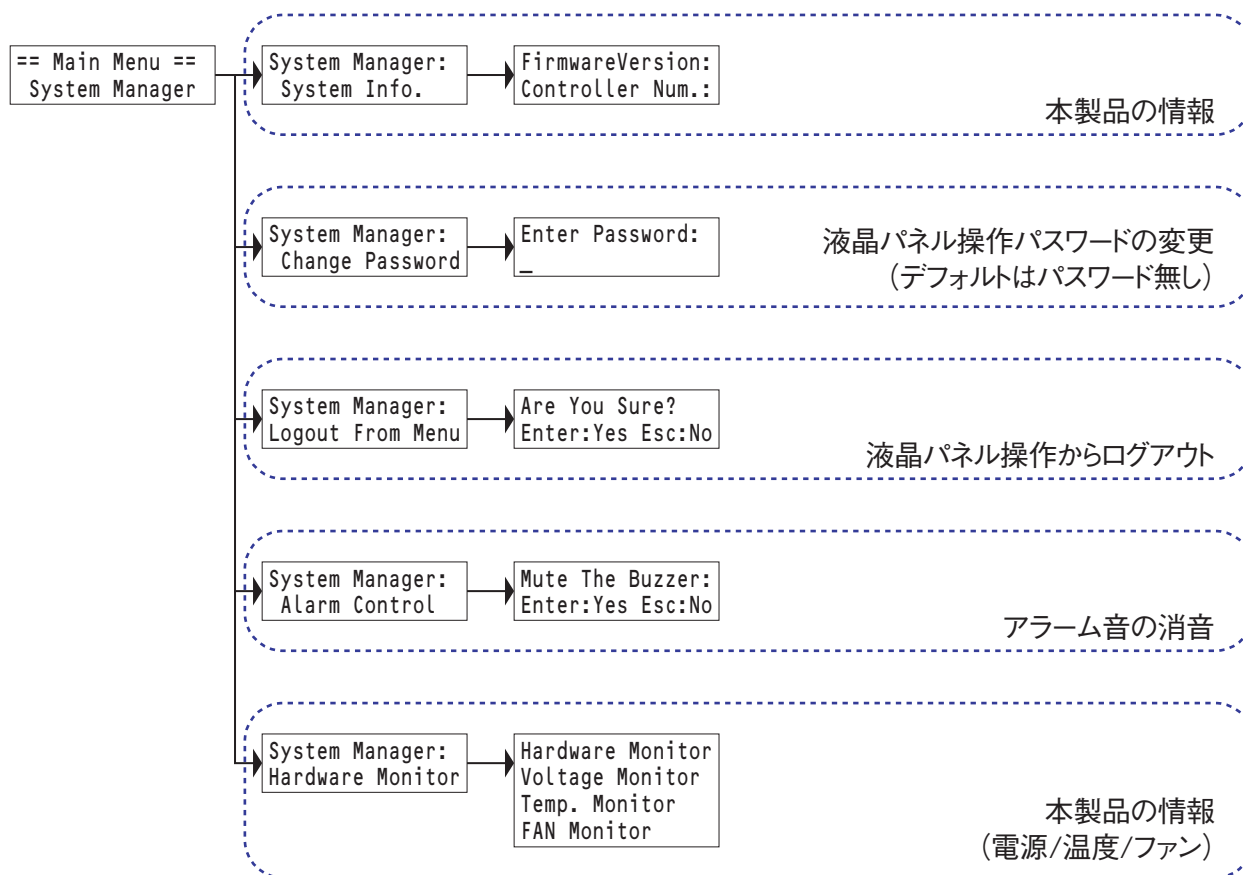
RAID Manager:
Rebuild Priority

Select RAID:
RAID Set 0
RAID Set 1

Select Priority:
Highest Level
High Level
Normal Level
Low Level
Lowest Level

Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No

リビルドの優先度設定



ディスクステータスランプ / 本体ステータスランプの表示

ディスクや本体の状態によってステータスランプの表示パターンが変わります。
 トラブルが発生した場合は、以下の表を参照してエラーの内容を確認してください。

ステータス	電源ランプ	本体 ステータスランプ	ディスク ステータスランプ	アラーム音
電源 ON	青 (点灯)	消灯	青 (点滅→点灯)	RAID 構成認識時に 1 回
ディスクなし	青 (点灯)	消灯	消灯	
ディスクエラー	青 (点灯)	消灯	赤 (点灯)	
RAID エラー	青 (点灯)	消灯	赤 (点灯)	4 回連続
ディスクアイドル状態	青 (点灯)	消灯	青 (点灯)	
フォーマット中	青 (点灯)	消灯	青 (点滅)	
アクセス時	青 (点灯)	消灯	青 (点滅)	
背面ファンのエラー	青 (点灯)	赤 (点灯)	青 (点灯)	4 回連続
温度ステータスのエラー	青 (点灯)	赤 (点灯)	青 (点灯)	4 回連続
リビルド時	青 (点灯)	消灯	既存ディスク: 青 (点滅) 交換ディスク: 青 / 紫 (点滅)	

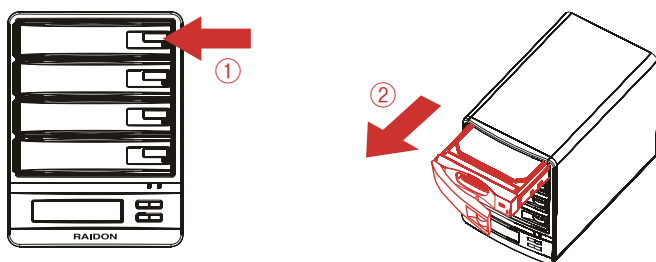
ドライブホルダーの交換と復旧作業

●作業を始める前に必ずお読みください

- ・事前に必ずデータのバックアップを行ってください。
- ・一時的にアラーム音を止める場合は本製品背面の消音ボタンを押してください。
- ・電源が入っていない状態でスペアドライブの交換をすると、エラーが発生します。スペアドライブの交換は必ず電源が入った状態で行ってください。
- ・自動復旧動作が完了するまで、3～13時間程度を要します。(容量によって異なります)
- ・復旧動作中の本製品に対しても読み出しや書き込みを行えますが、正常時よりも読み書きに時間がかかります。また、復旧が完了するまでの時間が長くなりますのでご注意ください。

1. 障害が発生したドライブホルダーを取り外します。

レバーロック解除ボタンを押し、レバーを持ってドライブホルダーを引き出します。



2. 交換用ドライブホルダーをスロットに差し込みます。均等に力を入れて、奥に押し込んだあと、レバーを元の位置に戻します(カチッという音がします)。

3. 復旧作業が開始します。一定時間が経過すると、復旧動作が完了します。

データ保証について

本製品の中に作成、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合、弊社は理由の如何にかかわらずデータの保証をいたしかねます。必ずデータのバックアップを行ってください。

安全上のご注意



警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。



本製品を使用する際は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、故障時の保障対象外となります。



本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置 / 保管してください。



触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。



火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントを使用しないでください。



本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。



電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。



ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。



傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。



電源ケーブル (AC アダプター) を壁やラック (棚) などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。



電源ケーブル (AC アダプター) を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。



水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。



人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。



本製品やコンピューター本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまますると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。



本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。



必要なデータはバックアップするようにしてください。本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。



本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。

- ・不安定な場所・ホコリの多い場所
- ・振動のある場所
- ・高温/多湿な場所
- ・衝撃のある場所
- ・傾斜面
- ・たばこの煙
- ・腐食性ガス雰囲気中
- ・直射日光の当たる場所
- ・水気の多い場所 (台所、浴室など)
- ・強い磁気の発生する場所
- ・暖房器具の近く
- ・飲食物の近く
- ・静電気の影響を受けやすい場所



本製品の稼働中に電源ケーブルや、接続ケーブルなどを抜かないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品のコネクター部分には触れないでください。故障の原因となります。



本製品や付属物の上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となります。



本製品を移動する時は、電源を切ってから A C アダプターもしくは電源ケーブルを取り外してください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本体が熱い時はさわらないでください。



本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。



本製品が結露した状態で使用しないでください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間を置いて結露がなくなってからご使用ください。



本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されません。特殊なソフトウェアなどを使用して、データを復元、再利用される可能性があります。情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にご確認ください。

故障かな?と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

また、弊社Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバーソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

ヤノ販売株式会社 カスタマーサポート

住所：〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F

Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983

電話による受付時間：月曜日から金曜日まで (祝祭日、特定休業日は除く)

午前 9 : 30 ~ 12 : 00 / 午後 1 : 00 ~ 5 : 00

Web : www.yano-sl.co.jp

E-mail : info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303 (営業) Fax. 078-646-8982

E-mail: info@yano-sl.co.jp Web: www.yano-sl.co.jp

YANO
Autonomy & Independence

